

f t . i . b ')

Nasushiobara
ohfawara





いつもとちがう
まちを歩くと、
いつもとちがうモノや
風景が目に入る。
まちから帰ってきたとき、
あなたの気分が
晴れていますように。

那須塩原 「まちあるきのまち」

あったかな陽気が、道の雪をとかしはじめて。大学卒業後の、つかの間の休み。あしたには、東京へ帰らなくちゃいけない。家でごろごろするのは、もったいない気がする。どうせなら、と思い、昔から行きたかった、黒磯の駅まえ通りを訪れてみた。とくにあてもなく、気ままに歩いていると、いろんなお店に目をうばわれる。カフェやごはん屋さん、お洋服

屋さんに家具屋さん。どのお店もおしゃれだけど、ふらりと立ち寄れる素朴さがあって。わたしと同年ぐらいの人たちが、いっぱい歩いている。まちなかには古い建物や商店が残っていて、しぜんと顔を上げていた。歩いていると、ふわふわと、白いけむりが。おおきくて、歴史を感じる和菓子屋さん。その軒先から、あったかそうな湯気が出ていて。おまんじゅうだ。「よかったらお茶でも」と、三角巾をかぶった店員さんが、お店の中へ案内してくれた。椅子

に座ると、できたてのおまんじゅうと、ぽかぽかしたお茶を出してくれて。ほかのお客さんもお店の中で、つぎの電車を待っていたみたい。おおきな旅行バッグを持っている人もいる。遠くから遊びに来てたのかな。隣に座ったおばさんが、話しかけてくれて。知らないまちで、はじめて出会った人と、一緒にお茶を飲みながら。みんなより近いところから来たけれど、普段は味わうことができない楽しさが、ちょっとした旅行気分をつくってくれた。



大田原 「みんなで営むまち」

雪がとけはじめたから、気になっていた大田原のお店にも、寄ってみようと思った。その途中にある、木造の一軒家。駄菓子屋さんだ。ちいさい女の子が、お母さんとお菓子を選んでいる。手には、いっぱいキャンディー。そばで、お店のおじさんが、笑顔で立っていて。その姿にほほえましさを感じながら、細い路地に入ると、目的の、白とターコイズの建

物が見えた。部屋の1つ1つが、作家さんのお店になっているアパート。そのまえて、若い人たちが残った雪をそうじしている。建物を見上げるわたしに、「お店の中、見ていきませんか」と、スコップを持った女の人が話しかけてくれた。その女性は、このアパートでお洋服をつくる作家さん。雪かきしてた人たちも、それぞれのお店で作家さんで、建物も店内も、みんなでリフォームしたらしくて。階段を登っていると、カラフルなドアの部屋のまえて、ホウキを持った女の

人がドアの鍵を開けていた。「あれ？雪かき終わり？」。話しかけられたお洋服屋さん。「遠くから来てくれたお客さん」と、わたしを紹介してくれた。それを聞いた女の人は、また鍵を回し、ドアを開けてくれて。「よかったら、うちにもどうぞ」。店内に並ぶ、色あざやかな雑貨たち。そのかわいらしさに、ワクワクして。「ごゆっくり」と、作家さんたちは雪かきへ戻った。みんなで楽しむ、春じたく。ぽかぽか陽気に似合う、薄手のブラウスを買ってこよう。

来てくれた人に、笑顔。そんな想いや人柄を
カタチにしたお店が、まちにはいっぱいありました。

パンをつくる。
笑顔をつくる。

扉を開けると、やさしい表情の、パンと
店員さんが迎えてくれて。「パンは
生きものなんです」と話す、シェフの
平山さん。「すこしの温度や湿度の
違って焼きあがりが変わるので、その
変化に気を配りながら、大切につくり
ます」。顔がほころぶおいしさは、食べ
る人を想う繊細な手づかい、心づかい
から生まれていました。



KANEL BREAD

栃木県那須塩原市本町5-2
Tel. 0287-74-6825
open. 10:00-18:00 / close. 火曜日
url. www.facebook.com/kanelbread

道具の個性をそのままに、
これからのつかい手さんへ。

こちよく並ぶ、家具や小物などの
古道具。独特な味わいを持つ道具
たちは、店主の吉田さんが集め、修理・
リメイクしたモノです。「どんな方が、
どうつかわれていたのか。手を加える
まえ、そんな道具の姿を想像してい
ます」と吉田さん。育んだ個性のまま、
つぎの場所でも大切につかってもらえ
る。幸せなもの、道具たちです。



「萬」吉田商店

栃木県那須塩原市本町3-5
Tel. なし
open. 13:00-18:00 / close. 日・月・火
url. なし

愛されてきた理由は、
つくる人の気持ち。

明治屋さんの温泉まんじゅうは、長年、
地元内外から愛されてきました。毎年
農家さんを訪ね、そこでふれる小豆。
その風味を生かしたあんは、やさしい
甘さを楽しませてくれます。職人さん
たちに代々受け継がれる、「菓子は人
なり」という言葉。毎朝たくさんつくら
れるおまんじゅうは、その言葉のように
1つずつ丁寧に、手で包まれています。



御菓子司処 明治屋

栃木県那須塩原市本町4-3
Tel. 0287-62-0444
open. 7:00-19:30 / close. なし
url. www.nasu-meijiya.com

そのときに、
ほんとうにおいしいものを。

焼きあがったいい香りが、席まで届
いて。ルスティコは、イタリアンをベース
にした炭火焼きとお酒を楽しむお店。
食材の魅力を、炭火でゆっくりと引き
出しています。「食材はジャンルを
問わず、季節ごとにおいしいと思っ
てもらえるものを」。そう話してくれたシェフ
の山仲さん。キッチンから、お客さんが
笑顔で食べている風景が見えました。



ルスティコ

栃木県那須塩原市錦町2-3 / Tel. 0287-62-1879
open. 11:30-14:30 18:00-24:00
close. 木曜日
url. www.facebook.com/sumiyaki.rustico

那須塩原のみせ

お客様の幸せ。 お店の幸せ。

若い人からご年配の人まで。クラノカフェには、幅広い年代のお客様が遊びに来ていました。落ちついた店内で、洋と和の手づくりデザート。ゆったりとした時間に、しぜんと表情が和らぎます。「そんなお客さまの様子を眺めていられるのが、すごく幸せ」。お店を営む田中さんは、うれしそうに語ってくれました。



クラノカフェ

栃木県大田原市中央1-7-6
Tel. 0287-22-8225
open. 11:30-18:00 / close. 月曜日
url. kuranocafe.seesaa.net

アパートぜんぶが、 お客さんを楽しませる場。

裏路地にある、やさしい色合いの建物。メゾンドクチュールは、雑貨や家具などの作家さんが各部屋で、お店を営むアパートです。商品はもちろん、内装にも作家さんたちの個性が表れていて、居るだけでワクワクする空間。物販のほか、ワークショップやマルシェも開き、住民みんなで、お客さんとの交流を楽しんでいます。



裏路地雑貨 メゾンドクチュール

栃木県大田原市山の手1-5-20
Tel. 080-6633-1855(11:00-17:00)
open / close. 各ショップによって
url. ameblo.jp/maison-de-9

子どもも、大人も。 時代をつなぐ駄菓子屋さん。

明治中期に建てられた金物屋が、駄菓子屋さんとして生まれ変わりました。建物はもちろん、壁に並ぶ薬箱などの道具も、ほとんど当時のまま。「子どもたちが遊べる場をつくりたかった」と、たち上げから関わる植木さん(NPO法人おおぞら)。大人たちも昔を懐かしみ、親子でお菓子を選んでいました。



あらまち蔵屋敷駄菓子屋

栃木県大田原市中央1-2-14
Tel. 0287-53-8220
open. 10:30-18:30 / close. 火曜日
url. なし

お菓子が彩る、 いつもとちがう気分。

ショーケースに並べられた、色とりどりの焼き菓子。地元農家さんから届く季節の果物を活かして、お菓子の味やフォルムを魅力的に飾っています。「つくったお菓子が、食べる人の時間を、ちょっとでも楽しくしてくれたら」と、店主の福田さん。その日が、特別な日でも、そうでない日でも。気分を彩ってくれるお菓子です。



大田原のみせ

焼きたて焼き菓子工房 Kabaco

栃木県大田原市中央1-3-15 (トコトコ大田原1階)
Tel. 0287-47-5764
open. 9:00-19:00 / close. 月曜日
(祝日時は営業。翌日定休) / url. なし

那須塩原と大田原。
それぞれのまちに
縁のあるおふたりに、
まちの魅力を
語ってもらいました。



シャッターを開けたくて。

高木：とってもおしゃれなアパートですね。栗田：作家さんが、お店の個性に合わせて改装してるんですよ。高木：ここの住民さんで、私のお店に作品を置いてくれる作家さんから、「大田原に作家が集まるアパートができるんです」と聞いて。気になっていました。栗田：私はもともと、まちなかの違う場所で、お店をやっている。その通りは昔、賑わう商店街でしたが、営むお店が少なくなりました。当時を知る私には、今の雰囲気がさびしくて。空き店舗を見つけて、お店をはじめたんです。高木：1軒でも開くと、地元の人には嬉しいと思う。栗田：「通りが明るくなった」と言ってくれましたね。

だんだんとお客さんが来て、人で賑わう感じがすごく楽しかった。その中に、同じようにまちなかで手しごとの作品を扱うお店の方がいて。「もっと人が集まれる場がほしいね」と意気投合したんです。それから、お店に来られた作家さんにお声がけして、ココを。高木：シャッターを開けたら、いろんなつながりが生まれたんですね。

みんながいて、まちになる。

栗田：高木さんのお店も、カフェにギャラリーを併設して、お客さんと作家さんやモノをつなげていますよね。高木：人とのつながりは、大切にしたいと思っています。お客さんには、まわりのお店も紹介しています。「自分のお店だけでなく、まわり

のお店も笑顔になるように」という風土が、私のまちには昔からあって。栗田：その想いは、私たちもお店を営むうえで、大事にしたいところです。高木：もちろん、お客さんへのおもてなしの気持ちも、昔からのお店、若い人のお店、どちらも持っていて。栗田：黒磯は、若い人のお店が多いですね。まちを歩くのが楽しくて。高木：子どもの頃から若い人が営むお店が増えたので、よく遊びに行っていました。雰囲気づくりとか、接客のやさしさとか、学べたことが多くて。栗田：お店をやってみようかになって、夢が持てますよね。私のところも今後は、お店をはじめてやる人の、スタートアップに利用してもらえたらと考えています。それで、まちにお店がたくさんできたら。高木：まちのためにお店ができることは、いっぱいありそうですね。

左：栗田 理恵 / TIKU TAKU BON BON

栃県大田原市山の手1-5-20 (メゾンドクチュール202号室)
Tel. 080-6633-1855
open. 13:30-16:00 / close. 土曜・日曜
url. ameblo.jp/tikutakubonbon-0305

右：高木 美代子 / カフェ セントロ

栃県那須塩原市本町5-2
Tel. 0287-62-0050
open. 8:30-18:00 / close. 木曜・第1金曜
url. centoro.exblog.jp



自然。歴史。暮らし。そして、そのまわりの笑顔。
手のしごとから、まちの風景が見えてきました。

那須塩原のチーズ

那須は長らく、荒れた土地でした。岩が転がり、水も通っていない。戦後、入植者が自らの手で開拓をはじめ、ともに暮らしてきたのが、動物たち。耕した土地の、新鮮な草を食べて育った牛は、潤沢なミルクをつくってくれました。現在、那須の生乳は、本州一の出荷額を誇ります。そして今、新たな試みがはじまりました。それは、チーズづくり。「もっと、那須のミルクの魅力を伝えたい」。『那須の森』のつくり手さんたちは、ほとんどの工程を、手で行っています。乳酸菌との混ざり方、成形、熟成。繊細な性質を持つチーズは、ちょっとした気候の変化で、まったくの別ものに。けれど、手ざわり、匂い、味覚といった自分の感覚をつかって、チーズをつくる。「手でつくった方が、おいしくなる。そう信じています」。自然と暮らしてきた文化は、人に、食べものに表れていました。

チーズ工房 那須の森

栃木県那須塩原市中央町5-3 / Tel. 0287-63-7241
open. 9:00-17:00 / close. 木曜日
url. www.facebook.com/cheesenasunomori





大田原の竹細工

軽くて、丈夫で、つかい勝手がよくて。日本各地でつかわれていた、竹の入れもの。食材の器になったり、モノを運ぶ籠になったりと、日用品として暮らしの中にありました。特に大田原は竹の産地として知られ、昔から竹細工が営まれています。戦後も、その風景を残そうと、竹細工の可能性が追求されました。技術の研鑽はもちろん、時代の要望に合わせたフォルムや色味を、竹籠に施して。「大事な文化を守るため、いいものをつくり続ける」。割った竹を1本ずつ削りながら、職人さんは語ります。長くつかってもらえるように、竹の表面や端を丁寧に丸めていく姿。竹を切り出す人、細く薄く加工する人、そして編む人。たくさんの人が関わって、1つの竹籠ができていく。その工程1つ1つに込められた、つかう人への想いが、大田原の竹細工を、未来につないでいます。

無心庵

栃木県大田原市美原3-3345-6 / Tel. 0287-22-5200
open. 10:00-17:00 / close. 不定休
url. www.take.otawara.jp

栃木県内中心市街地のイベント情報〔2014年4月－2014年6月〕



宇都宮市

宇都宮カクテルカーニバル

カクテル倶楽部加盟店によるカクテルカーニバルが、今年も開催。ハイレベルなバーテンダーが腕をふるいます。

期間 / 5月25日〔日〕 時間 / 12:00-18:00

場所 / オリオンスクエア

問合せ / 宇都宮観光コンベンション協会

028-632-2445



真岡市

真岡の一万本桜まつり

今年も真岡市内各所で、桜まつりが開催されます。1万本の桜でピンク色に染まる、真岡の春を満喫しましょう。

期間 / 3月29日〔土〕－5月6日〔火〕

場所 / 根本山・井頭公園・行屋川・北真岡・桜町・桜町

陣屋・熊倉神宮などの市内各所

問合せ / 真岡市観光協会 0285-83-8135



鹿沼市

第43回 鹿沼さつき祭り

数万本のさつきの展示即売会や、その他イベントも盛りだくさん。手のり盆栽から賞に輝いた逸品まで、全国最大級のさつきの祭典をお楽しみに。

期間 / 5月31日〔土〕－6月9日〔月〕

場所 / 鹿沼市花木センターほか

問合せ / 鹿沼市花木センター 0289-76-2310



小山市

第3回 おやま元気あっぷグルメ選手権

来場者の投票により、おやまのご当地グルメNo.1を決定します。「おやま思川桜まつり」も同時開催。

期間 / 4月13日〔日〕

時間 / 10:00-15:00

場所 / 小山御殿広場(市役所北側)

問合せ / 実行委員会 0285-22-9317



栃木市

栃木・蔵の街かど映画祭

栃木市内の歴史的建造物や土蔵をミニシアターに変貌させる、全国初の歴史景観活用型の映画祭です。

期間 / 5月17日〔土〕－5月18日〔日〕

場所 / 栃木市内

問合せ / 栃木市商工観光課 0282-21-2373

(一社)栃木市観光協会 0282-25-2356



佐野市

第4回 まちなか・まちかどギャラリー「いつ展べえ」

まちなかの店舗に、佐野にゆかりのある作家たちの作品がにぎやかに並びます。文化・芸術・味覚・ときめきの、まちなか散策をお楽しみください。

期間 / 4月5日〔土〕－5月6日〔火〕

場所 / 駅周辺の約20店舗で開催

問合せ / まちなか活性化推進協議会 0283-27-3022



足利市

学生チャレンジショップ

市内の学生たちが空き店舗などを活用して、若さとセンスで、活気あふれるチャレンジショップを開店します。

期間 / 4月下旬ー5月中旬の土・日・祝日

時間 / 10:00-16:00

場所 / 足利学校及び石畳通り周辺

問合せ / 足利市商工振興課 0284-20-2159



那須塩原市

第12回 黒磯駅前キャンドルナイト

黒磯駅前に、キャンドルがやさしく灯ります。夏のはじまりを明かりとともに、ゆっくりと楽しんでください。

期間 / 6月21日[土]

時間 / 14:00-20:00 (点灯式は18:00-)

場所 / 黒磯駅前通り歩行者天国

問合せ / 黒磯駅前活性化委員会 0287-74-3670



日光市

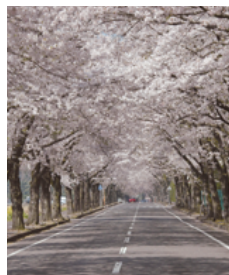
瀧尾神社例大祭

瀧尾神社の春の例大祭。神事が執り行われた後、桜が咲き誇る中、かわいらしく着飾った稚児の行列や花屋台などが今市地域のまなかに繰り出し、祭りを盛り上げます。

期間 / 4月12日[土]ー4月13日[日]

場所 / 瀧尾神社

問合せ / 瀧尾神社 0288-21-0765



芳賀町

第22回 芳賀町さくら祭り

約3kmにおよぶ桜のトンネルが、みなさまをお迎えます。ライトアップに彩られた幻想的な夜桜もどうぞ。4月6日には、屋台が楽しめるイベントを開催します。

期間 / 4月4日[金]ー4月16日[水]

場所 / かの森公園及び周辺

問合せ / 芳賀町観光協会 028-677-1115



大田原市

屋台まつり

屋台同士がぎりぎりまで近づき、屋台の中で演奏する太鼓や笛の音を競い合う「ぶっつけ」が、両日披露されます。

期間 / 4月19日[土]ー4月20日[日]

時間 / 12:00-20:00

場所 / 中心市街地

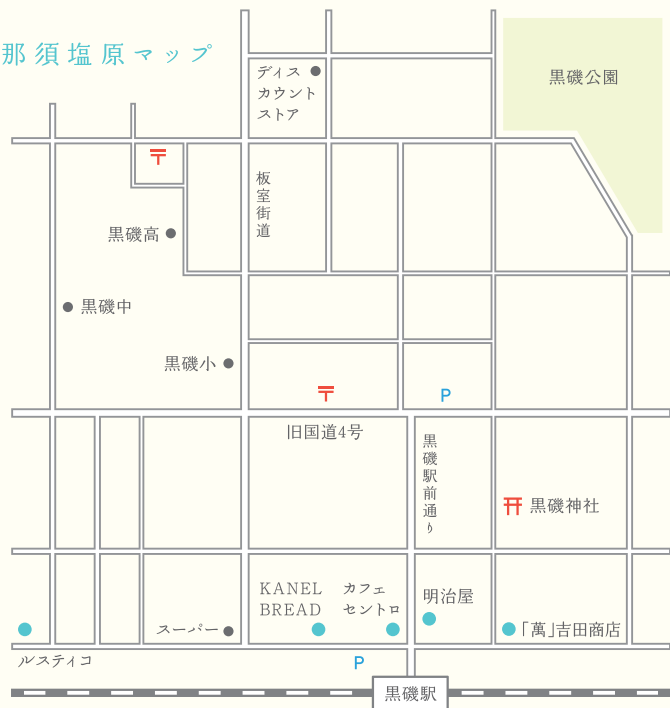
問合せ / 実行委員会事務局 0287-22-2273

砂田 麻友子さん / 2013 マロニエメイツ

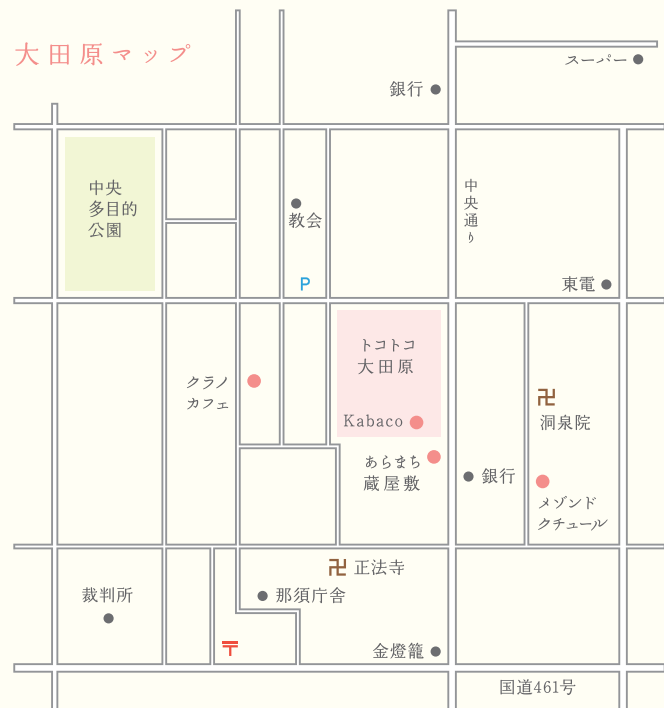
今回のお散歩では、駄菓子屋さんや雑貨屋さんなど、どこか懐かしく、かわいらしいお店やまちなみを楽しむことができました。立ち寄ったお店の雰囲気から、営む人のやさしさを感じて。私が出会った大田原市と那須塩原市の魅力を、たくさんの人に知ってもらいたいです。



那須塩原マップ



大田原マップ



まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふり』は、多くの人に栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、「まちなか」の魅力を紹介する冊子です。歩くまちは、毎号2市町ずつ。次号は、小山市・栃木市となります。次号も、どうぞお楽しみに。

発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課） Tel / 028-623-2464 Fax / 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内15市町によって構成される協議会で、中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。